

明星通信 よくある修得パターン

教育職員免許法第6条別表第4 (中高・理科)

懂れていた
先生は
いましたか？

明星通信で教員になる。



教育職員免許法第6条別表第4を適用して 教員免許状を取得する

<注意>

本資料は、教育職員免許法第6条を適用し免許状取得を目指す方が本学で単位修得をする場合に、一般的に修得が必要とされる科目（単位）を示したものです。

- ・教育職員免許法第6条の適用可否は、本学で判断することはできません。必ず免許状申請先または勤務先の都道府県教育委員会に確認を行ってください。
- ・免許申請先の都道府県により修得が必要な科目（単位）が異なる場合があります。教育職員免許法第6条の適用可否と併せ、修得すべき科目（単位）の内訳等の詳細についても確認・履修相談を行ったうえで出願してください。都道府県教育委員会に確認をせずに本資料の通りに単位修得をした場合でも、教員免許状の取得を保証するものではありません。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

別表第4

第1欄	第2欄	第3欄
受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする第1欄に掲げる教員の1以上の教科についての免許状の種類	大学において修得することを必要とする教科及び教職に関する科目の最低単位数
中学校教諭1種免許状	中学校教諭専修免許状または中学校教諭1種免許状	28
中学校教諭2種免許状	中学校教諭専修免許状、中学校教諭1種免許状または中学校教諭2種免許状	13
高等学校教諭1種免許状	高等学校教諭専修免許状または高等学校教諭1種免許状	24

※『2025年度大学案内・学生募集要項』
P134～138より抜粋

希望する免許校種（第1欄）と同等以上の免許状（第2欄）を所持している方が対象となります。
定められた単位数（第3欄）の修得が必要です。

単位の内訳

受けようとする免許状の種類	① 最低修得単位数 ②		
	教科に関する専門的事項に関する科目	各教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
中学校教諭1種免許状	20	8	
中学校教諭2種免許状	10	3	
高等学校教諭1種免許状	20	4	

次ページより、希望する校種（教科）に沿って、本学開講科目より①②の履修科目の内訳を確認します。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校・高等学校1種（理科）両校種 または
中学校1種（理科）のみ取得する場合

●印：一般的包括的内容を含む科目
(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第4 中学校・高等学校(理科)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目 コード	科目 名	単 位	受 講 方 法	スクーリング 受講費
① 教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	PG2010	●物理学概論 1	2	RT	
			PG2020	物理学概論 2	2	RT	
	化学		PG3020	●化学概論 1	2	RT	
			PG3030	化学概論 2	2	RT	
	生物学		PG2030	●生物学概論 1	2	RT	
			PG2040	生物学概論 2	2	RT	
	地学		PG2060	●地学概論 1	2	RT	
			PG2070	地学概論 2	2	RT	
	物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	「物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験」	PG3012	●物理学実験(コンピュータ活用を含む) ※1※2※3	1	S	¥120,000
			PG3042	●化学実験(コンピュータ活用を含む) ※1※2※3	1	S	¥120,000
			PG2052	●生物学実験(コンピュータ活用を含む) ※1※2※3	1	S	¥120,000
			PG2082	●地学実験(コンピュータ活用を含む) ※1※2※3	1	S	¥120,000
				計		20	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む) ②			PG2090	理科教育法 1 ※4	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3050	理科教育法 2 ※4	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3060	理科教育法 3 ※4	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3070	理科教育法 4 ※4	2	RTorSR	(¥11,000)
			計		8		

※1 印の科目を履修するためには、「入学選考試験(理科実験科目)」の受験が必要です。▶043 ページ参照
 ※2 【中学校】免許法施行規則に定める科目区分の「物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験」の一般的包括的内容を満たすには、「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」全ての単位修得が必要となります。
 ※3 【高等学校】免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついてる科目のいずれか1科目を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。
 ※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

- 「●物理学概論1」「物理学概論2」
- 「●化学概論1」「化学概論2」
- 「●生物学概論1」「生物学概論2」
- 「●地学概論1」「地学概論2」
- 「●物理学実験（コンピュータ活用を含む）」
- 「●化学実験（コンピュータ活用を含む）」
- 「●生物学実験（コンピュータ活用を含む）」
- 「●地学実験（コンピュータ活用を含む）」

以上12科目20単位必須

②『各教科の指導法』について

- 「理科教育法1」「理科教育法2」
- 「理科教育法3」「理科教育法4」

以上4科目8単位必須

【計16科目28単位の履修が必要】

※実験科目を履修するには、理科選考試験（4月生1期出願のみ）を受験し、合格することが必要です。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校2種（理科）のみ取得する場合

●印：一般的包括的内容を含む科目
(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	受講料	
① 教科に関する専門的事項	中学校	物理学	PG2010	●物理学概論 1	2	RT		
			PG2020	物理学概論 2	2	RT		
	化学	PG3020	●化学概論 1	2	RT			
		PG3030	化学概論 2	2	RT			
	生物学	PG2030	●生物学概論 1	2	RT			
		PG2040	生物学概論 2	2	RT			
	地学	PG2060	●地学概論 1	2	RT			
		PG2070	地学概論 2	2	RT			
	物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	「物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験」	PG3012	●物理学実験(コンピュータ活用を含む)※1※2※3	1	S	¥120,000	
			PG3042	●化学実験(コンピュータ活用を含む)※1※2※3	1	S	¥120,000	
			PG2052	●生物学実験(コンピュータ活用を含む)※1※2※3	1	S	¥120,000	
			PG2082	●地学実験(コンピュータ活用を含む)※1※2※3	1	S	¥120,000	
					計	20		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む) ②		PG2090	理科教育法 1※4	2	RtorSR	(¥11,000)	
PG3050			理科教育法 2※4	2	RtorSR	(¥11,000)		
PG3060			理科教育法 3※4	2	RtorSR	(¥11,000)		
PG3070			理科教育法 4※4	2	RtorSR	(¥11,000)		
計			8					

※1 印の科目を履修するためには、「入学選考試験(理科実験科目)」の受験が必要です。▶043 ページ参照

※2 【中学校】免許法施行規則に定める科目区分の「物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験」の一般的包括的内容を満たすには、「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」全ての単位修得が必要となります。

※3 【高等学校】免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のいずれか1科目を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について



- 「●物理学概論1」
- 「●化学概論1」
- 「●生物学概論1」
- 「●地学概論1」
- 「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」

以上8科目12単位必須

②『各教科の指導法』について



- 「理科教育法1」 「理科教育法2」
- 「理科教育法3」 「理科教育法4」

より2科目4単位選択

【計10科目16単位の履修が必要】

※実験科目を履修するには、理科選考試験（4月生1期出願のみ）を受験し、合格することが必要です。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

高等学校1種（理科）のみ取得する場合

（高等学校は1種のみ。2種免許状はありません。）

●印：一般的包括的内容を含む科目

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第4 中学校・高等学校(理科)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目 コード	本学開講科目名	単 位	受講 方法	スクーリング 受講費	
① 教科に関する専門的事項	中学校	高等学校						
	物理学		PG2010	●物理学概論 1	2	RT		
			PG2020	物理学概論 2	2	RT		
	化学		PG3020	●化学概論 1	2	RT		
			PG3030	化学概論 2	2	RT		
	生物学		PG2030	●生物学概論 1	2	RT		
			PG2040	生物学概論 2	2	RT		
	地学		PG2060	●地学概論 1	2	RT		
			PG2070	地学概論 2	2	RT		
	物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	「物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験」	PG3012	●物理学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000	
			PG3042	●化学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000	
			PG2052	●生物学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000	
PG2082			●地学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000		
計					20			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			②	PG2090	理科教育法 1 ^{※4}	2	R Tor SR	(¥11,000)
				PG3050	理科教育法 2 ^{※4}	2	R Tor SR	(¥11,000)
				PG3060	理科教育法 3 ^{※4}	2	R Tor SR	(¥11,000)
				PG3070	理科教育法 4 ^{※4}	2	R Tor SR	(¥11,000)
			計					8

※1 印の科目を履修するためには、「入学選考試験(理科実験科目)」の受験が必要です。▶043 ページ参照

※2 【中学校】免許法施行規則に定める科目区分の『物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験』の一般的包括的内容を満たすには、「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」全ての単位修得が必要となります。

※3 【高等学校】免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついてる科目のいずれか1科目を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

- 「●物理学概論1」「物理学概論2」
- 「●化学概論1」「化学概論2」
- 「●生物学概論1」「生物学概論2」
- 「●地学概論1」「地学概論2」
- 「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」
- 「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」

以上12科目20単位必須

②『各教科の指導法』について

- 「理科教育法1」「理科教育法2」
- 「理科教育法3」「理科教育法4」

より2科目4単位選択

【計14科目24単位の履修が必要】

※実験科目を履修するには、理科選考試験（4月生1期出願のみ）を受験し、合格することが必要です。